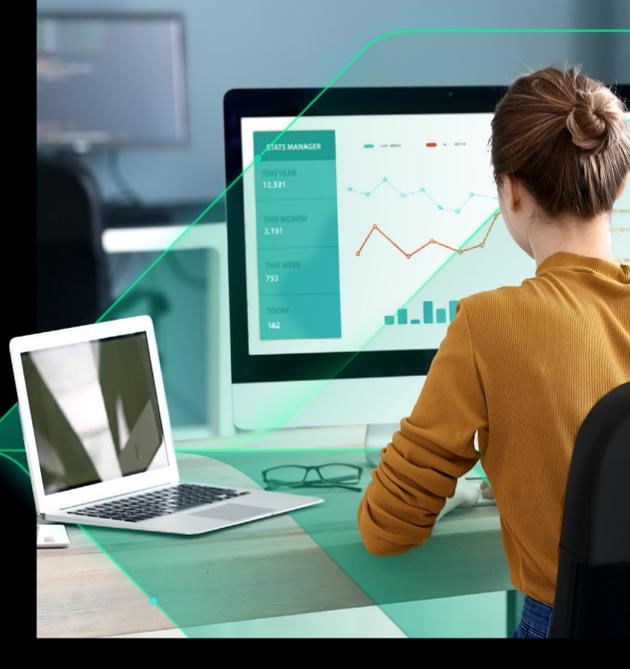


危険にさらされるデータ

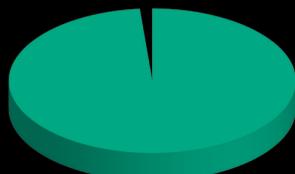
2021年度世界の業界分析

データはあらゆる企業の生命線であり、どのような困難があっても保護しなければなりません。しかしながら、クラウドやリモートワークが増加する環境で、十分に保護されていると言えるのでしょうか？この疑問に答えるため、ゼットスケイラーは、世界中の500人以上のITやセキュリティのプロフェッショナルを対象に調査を実施しました。

調査結果の概要を以下に紹介します。



リモートワークの増加、ブリーチの増加



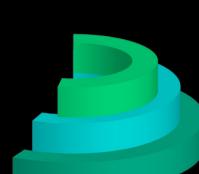
95%

COVIDによってリモートワークが増加したと回答した組織の割合



75%

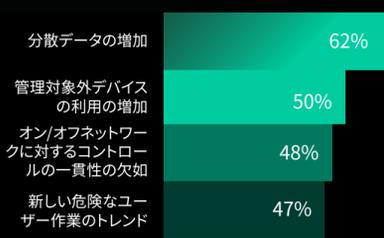
変更によってデータブリーチ件数が増加したと回答した組織の割合



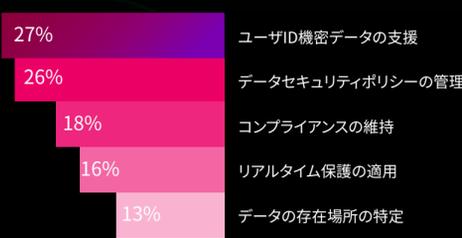
損失の大きい要素:
 売上 (51%)
 顧客 (53%)
 生産性 (61%)

リモートワークの課題、機密データの課題

リモートワークの増加に伴うデータ保護の課題

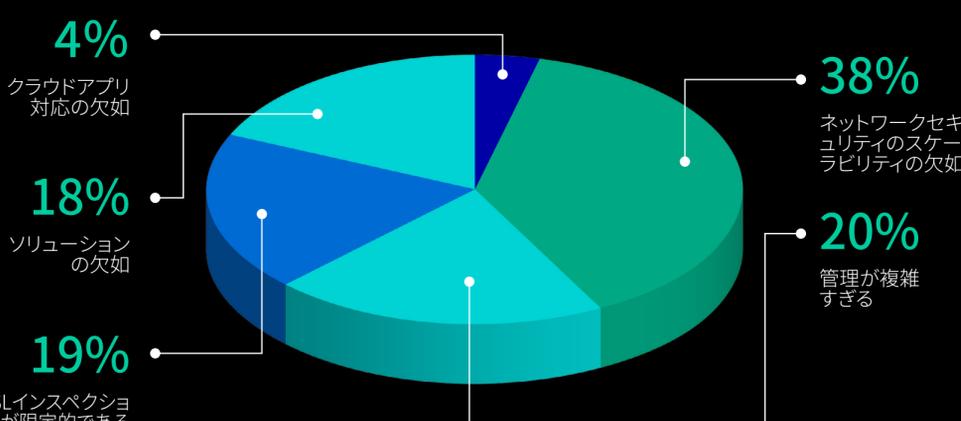


機密データの処理に関する最大の課題

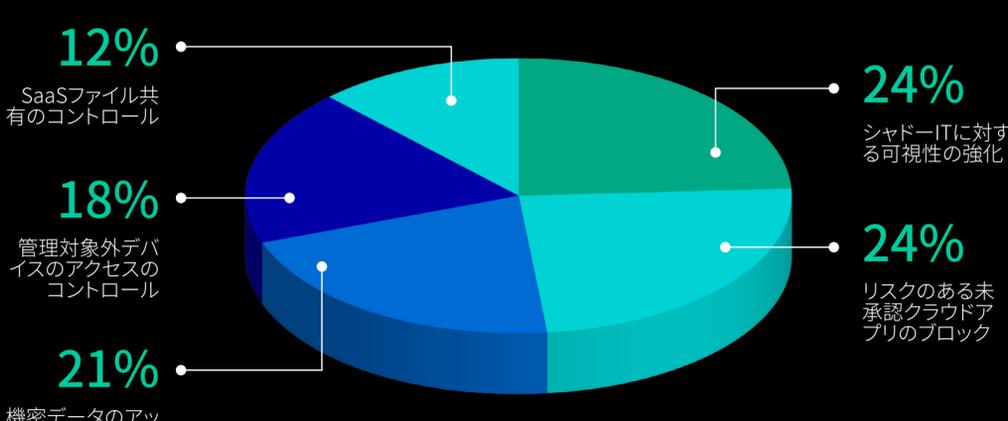


過去の問題、未来のニーズ

現在のデータ保護プログラムの最大の問題

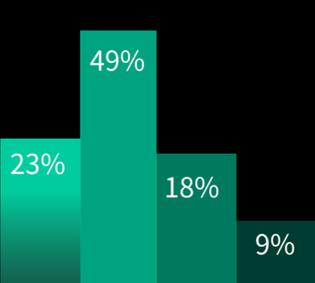


直面する最も重要なデータ保護のユースケース



ITの複雑化、統合に対するニーズの高まり

導入されているデータ保護テクノロジーの数



87%

ITの複雑さを軽減するためにデータ保護ベンダの統合を優先的に進めていると回答した組織の割合

今日の組織は、クラウドや世界中のあらゆる場所の機密情報を保護し、幅広いユースケースに対応し、ポイント製品の廃止を可能にすることでITの複雑さを解消できる、管理しやすいデータ保護ソリューションを必要としています。Zscaler Data Protectionは正に、これらすべての要素を兼ね備えたソリューションです。

[レポートを読む](#) →